

「動物と共に歩む社会を目指して ～千葉市動物公園の取り組み～」

千葉市動物公園で勤務されている先生方をお招きして、動物公園の取り組みや、普段は目にする事の出来ない動物公園の裏側など、貴重なお話をさせていただきます。

開催日時 令和6年3月17日（日） 13時30分～15時30分
開催場所 TKPガーデンシティ千葉3階「シンフォニア」
千葉市中央区問屋町1-45 千葉ポートスクエア内
(オンラインでもご視聴いただけます。)

講演1

動物園の屠体給餌プロジェクト

～動物の豊かな暮らしと動物資源の有効利用のために～

講師：千葉市動物公園 研究員 中山 侑 先生



動物園では、動物たちが心身ともに健康で豊かな暮らしを送れるように、様々な取り組みをしています。その取り組みの一つである「屠体給餌（とたいきゅうじ）」は、毛皮や骨が付いた肉をそのまま肉食動物に与える給餌方法で、動物の野生本来の採食行動を引き出し、行動の質を高めています。一方、国内では獣害対策としてシカやイノシシなどの野生動物を駆除していますが、駆除された動物の大半は捨てられており、動物倫理や環境面で深刻な問題となっています。そこで千葉市動物公園では駆除された野生動物を用いて屠体給餌を行うことで、大切な動物資源の有効利用を進めるとともに、動物園を通して地域の皆様に獣害問題や野生動物との関わり方を伝える環境教育活動も行っています。本講演では当園の「屠体給餌プロジェクト」の中で行った教育・研究活動を中心にご紹介します。

講演2

動物園の役割と千葉市動物公園の最近の繁殖個体

講師：千葉市動物公園

教育普及啓発員 平田 絢子 先生



動物園の社会的役割は、「種の保存」「教育・環境教育」「調査・研究」「レクリエーション」の4つが挙げられます。その中でも「種の保存」は、絶滅の危機にある野生生物を保全するための拠点としての役割です。動物園は野生で個体数が減少している動物を多数飼育しており、希少な動物を絶やさず増やしていくことが重要です。当園では近年、チーター、サバンナシマウマ、ホンドザル、フタユビナマケモノなどの繁殖がありました。本講演では、動物園の役割とともに、チーターの繁殖を中心に千葉市動物公園の最近の繁殖個体についてご紹介します。

受講申込みQRコード



主催：公益社団法人 千葉県獣医師会

お問合せ先：千葉県獣医師会 TEL 043-232-6980